

(1)

自民党政治の枠にとどまらない

## 新しい政治を県民とともに



よこがき成年  
3つの約束

「憲法をくらしの中に」——これが私の原点です。岸田政権の大軍拡・原発回帰が加速するいまだからこそ、米軍基地や再処理工場が存在する青森県に、くらしと平和を守る知事が必要です。新しい政治を一緒につくっていきましょう。

profile

1960年、むつ市関根生まれ/青森東高校、福島大学経済学部卒/青森保健生協などに勤務/むつ市議4期 [現在] 原発核燃をなくす東北の会事務局長、下北地方森林組合理事、青森県労働者山岳連盟副理事長/平内町在住

よこがき成年事務所 青森市緑1丁目1-2-6 連絡先: 070-1466-5406

**1 First** 自民+公明+維新がすすめる **悪政と対決します**

世界第3位の軍事大国に 敵基地攻撃能力の保有

大軍拡・大増税と戦争国家づくりストップ

再処理工場は26回の運転延期 核燃料サイクル政策の破綻は明らかです

**原発政策の大転換を**

- 核のゴミ捨て場にさせない条例を制定
- 原発再稼働・新増設ストップ

マイナンバーカードの押し付け許さず **健康保険証の廃止は許しません**

**2 Second** いのち・医療を最優先 **県民に寄り添う姿勢を貫きます**

子どもに優しく、若者に仕事を

- 子ども医療費は高校卒業まで無料に
- 高校の統廃合計画を見直し 浪岡高校・大湊高校の統廃合計画の凍結
- 中小企業への支援と一体に、賃金引き上げを 介護・保育などケア労働の賃上げを
- 農林水産業の支援強化 ●種子条例の制定

**3 Third** **みどりを大切にします**

2040年までに、CO2排出実質ゼロで豊かな自然を未来へ

- 八甲田山への風力発電計画の白紙撤回を
- 八甲田山などの登山道の整備
- 環境に配慮した省エネ・再エネを地産地消で推進

自由と民主主義、県民一人ひとりを大切にする県政を

一方は青森で... “共産党と市民運動などへの異常な攻撃的態度”  
他方はむつで... “憲法前文と9条の改憲を議場で主張”

私も推薦します

■高橋ちづ子 日本共産党衆議院議員  
自然を愛し、環境を守る運動にとりくむよこがきさん。平和・くらしの声でがんばりぬける新たな県政を期待します。

■今村 修 社民党青森県連代表 (元衆議院議員)  
■佐原若子 青森県保険協会理事 市民連合あもり共同代表  
■成田茂則 青森県労働者山岳連盟顧問

無所属  
よこがき  
成年  
なりとし

今、歴史的転換点にある青森県。お一人おひとりの県民の皆様から選ばれた知事として、皆様に寄り添って、皆様のために突き抜けていく存在となり、県民の皆様と協力を得ながら、40市町村を牽引し、日本をリードする「青森新時代」を目指していきます。

### PROFILE

公選職歴/  
むつ市長 (平成26年6月～令和5年3月)  
生年月日/  
昭和54年5月13日・むつ市生まれ  
学歴/  
青森県立青森高等学校卒業 (青森市暮らし)  
東北大学法学部卒業 (平成15年3月)  
経歴/  
国家公務員1種試験 (法律職) 合格  
国土交通省入省 (平成15年4月)  
「道路局係長・まちづくり推進課課長補佐・建設課課長補佐・東北地方整備局用地企画課長 外務省出向  
「在ニューヨーク総領事館領事 (平成24年6月)  
家族/  
妻、長女(14)、次女(8)、母  
その他職歴  
一部事務組合下北医療センター管理者 (平成26年6月～令和5年3月)  
しもきたTABIあしすと(DMO)理事長 (平成28年～令和5年3月)

## 青森新時代を創る11の柱と90の政策

- 1 燃料・電気・物価高等緊急対策実施** スピード実施へ  
社会情勢の変化に応じて事業者・生活者の支援を実施。県内に知事本部を設け、緊急対策本部を設置。スピード感をもって対応を実現。県内生産者にとっても課題の2024年問題について国への提言をまとめます。
- 2 人口減少・少子化へ挑戦** 子育て費用無償化へ  
少子化の要因を分析し政策を立案実行するため、「青森子ども未来県民会議」を設置。給食費を含む子育て費用の無償化などを進め、合計特殊出生率2.0以上に道筋をつける少子化対応政策「青森モデル」を確立します。
- 3 新たな医療連携のあり方構築** 県立病院・全県の2次医療機関の費用負担・医療従事者配置について再編・再構築により県内の医療格差を是正します。1次医療機関から3次医療機関までのネットワーク化、オンライン診療の普及により患者負担を軽減します。
- 4 再生可能エネルギーと自然との共生** 自然共生へ  
八甲田風力発電は白紙撤回を実現します。再生可能エネルギーの共生を図るためのソーニング条例を制定することにより、風力・太陽光ともに自然保護エリアを定め禁止区域を明確に定め、促進エリアでは開発を可能とし自然との共生を図ります。
- 5 世界とつながる青森へ** 県民所得アップへ  
生産者の所得向上のプログラムにより、リンゴ、野菜、果物、畜産、酪農、林業、水産の全てで豊かさが実感できる「シン・青森農林水産業」を目指し、世界へ発信します。観光客数・消費額を回復させインバウンドは10年で倍増を目指します。
- 6 気候変動・大規模災害への挑戦** いのちを最優先へ  
日本海溝等の巨大地震・津波に備え、津波防災タワーの研究・開発を迅速に進め、沿岸市町村で整備を推進します。頻発する豪雨災害には、現場を大切に、県と市町村の災害対策本部をデジタル技術で連動させ緊急対応の即応性を高めます。
- 7 スポーツと文化が花咲く青森へ** 子供の夢応援へ  
3年後の国入水・障入水に向け、競技施設の整備等に万全を期し、選手と指導者の育成を進めるとともに、子供達の夢を制約せず叶う環境づくりを進めます。縄文遺跡などの世界遺産について世界に発信し、文化財のデジタル化や海外展示を進めます。
- 8 青森の若者が世界に咲き誇る未来に挑戦** 若者が輝く青森へ  
ひとり親家庭や貧困家庭などの子どもを地域ぐるみで支援する体制をつくり出します。経済的理由で夢をあきらめることのないよう高校生・大学生に給付型奨学金を拡充します。海外へ挑戦する若者を応援する教育プログラム導入にも取り組めます。
- 9 あもり新共生社会の実現** つながる愛へ  
多様性を認め合い、差別のない、あたたかな「あもり新共生社会」を目指します。障がい者の自立と災害時の支援も充実させます。医療的ケア児とその家族の状況に応じた支援を実施します。高齢者の集いの場を市町村と連携して充実させます。
- 10 市町村長と知事の新たな連携** 住民に身近な県政へ  
県民の皆様が身近な課題を解決するため、その最前線に立つ市町村長と連携し日常的に課題を共有し、地域ごとなく「1つの青森」として解決に向かい前進する新しい連携を実現します。知事と40市町村長とをオンラインで常時接続し連携を強化します。
- 11 社会資本整備と健全財政の確立** 県民に貢献する積極財政へ  
国の補助金・交付金を積極活用し県土の強化、高規格道路のネットワーク化、防災減災インフラ整備等の社会資本整備に積極的に取り組めます。経常収支比率、健全化判断比率、県債残高等に常時注視し、安定的財政で県民経済に貢献します。

「90の政策」の詳しい内容はこちらからご覧いただけます



みやした そういちろう  
**宮下宗一郎**



くすだ けんしん  
**楠田謙信**

どうすれば 青森を豊かにできるか。  
答え↓一次産業を立直すことです。  
一、農業 10万人の収入を増やしたい！  
① 水田を二期作にする。  
② 畑作は大豆を中心に他を組合せる。  
③ 庭先でできる鳩似鳥を主婦 導入。  
二、林業 1万人を就業させたい！  
月給30万円30年間働ける環境を作る  
花粉症対策のため 杉 100万本を切る  
切った杉で50年間 ある商品 200万個東京で売る  
植林は花粉のない杉 成長の早い 桐 ユーカリ  
自然環境を守る 赤松 プナを植える  
三、水産業  
陸奥湾を生けすにして 養殖漁業を  
拡大する。季節ごとに収入があるように  
多様な養殖をする。マグロブリサケタラなど  
四、その他  
観光産業と一次産業を組合せて 体験型  
のプランを増やしたい。  
① 秋にりんご収穫 手伝い宿泊プランなど  
一次産業でまじめに働けば 未来がある社会。  
家族が明るくなったのしめる環境。政策が成功すれば 青森に住みたい、青森で働きたいと思う人が  
どんどん増えて 豊かな青森県になります。  
こうなれば 二次 三次産業も 発展します。

## 実行力!

### 小野寺あきひこ プロフィール

1982 (昭 57) 年: 八戸市旭ヶ丘幼稚園卒  
 1988 (昭 63) 年: 八戸市立旭ヶ丘小学校卒  
 1989 (平元) 年: 八戸市立大館中学校から  
 青森市立南中学校へ転校  
 1991 (平 3) 年: 青森市立南中学校卒  
 1994 (平 6) 年: 青森県立青森高校卒  
 1999 (平 11) 年: 東京大学経済学部卒  
 自治省〔現 総務省〕入省  
 宮崎市財務部長  
 ●愛知県総務部財政課長  
 などを歴任  
 [2015年 中小企業診断士登録]  
 2016 (平 28) 年: 青森市長に就任  
 2020 (令 2) 年: 東北市長会会長に就任

小野寺あきひこ選挙事務所 政策集はHPから読めます  
 青森市新町1丁目1-16 Youtubeでは政策の説明を  
 Tel.017-752-8062 Fax.017-752-8063

### 経済 しっかり稼げる県

- 6圏域での特性を活かした起業、創業の加速  
年間400社以上を創業し、雇用を創出
- 東北No.1の農業産出額を3,500億円台へ
- 交通網の整備・滞在型コンテンツの充実により、年間3500万人の観光客受け入れへ

### 子育て すくすく育つ県

- 子ども子育て経費を全県で順次無償化
- 妊産婦から子育て期まで一貫してケアできる  
親子はぐくみプラザを全8保健所に設置
- 小・中・高・大学が連携したキャリア教育  
県内就学・県内就職をコーディネート

### 健康 元気で長生きな県

- スーパーや公共施設などに集う  
まちなかいきいきサロンを全40市町村に整備
- 医師修学資金を50名に拡大  
県内で勤務する医師を確保します
- 全てのがん検診受診率を、  
60%に引き上げます

### 生活 暮らしを支える県

- 物価・エネルギー高騰対策として、  
プレミアム付き商品券を120万県民全員へ
- 県内有料道路へのETC、  
青い森鉄道へのSuica導入を目指します
- 青森が誇る豊かな森林を保全、  
八甲田風力発電に反対します



# 小野寺あきひこ

### 6圏域の特性を活かす 「街づくり」を主役に



東青/津軽藩の港町→商都、起業創業の街  
 中南/弘前大学などが並ぶ学都→医療、健康、バイオに力  
 三八/新産業都市の工都→ものづくりの専門家を集積  
 西北/津軽平野の稲作+洋上風力を新産業に  
 上北/三本木台地の畑作+現代アート×国際交流に重点  
 下北/ジオパークと最先端エネルギーの中心地

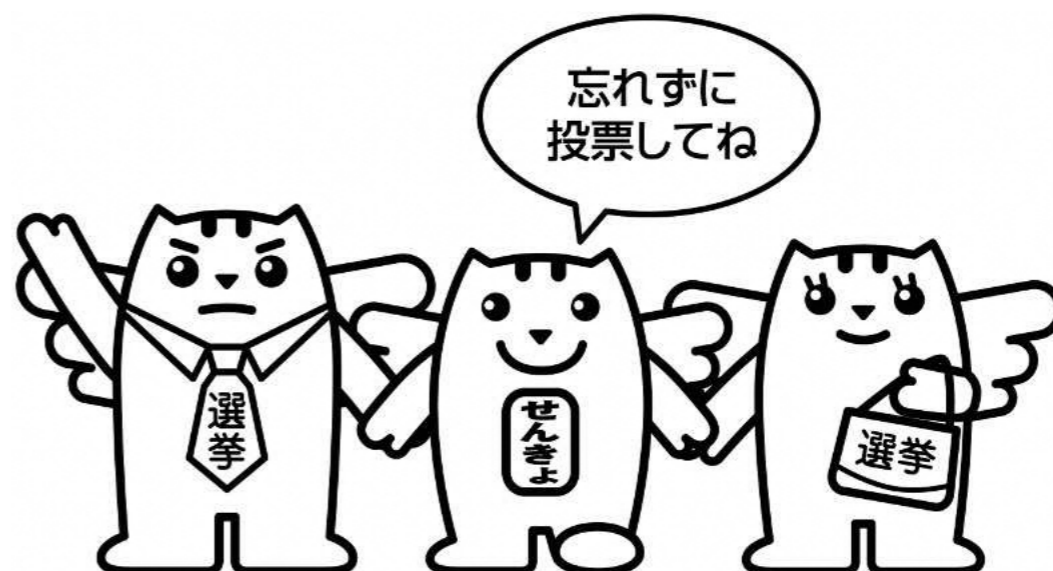
## 投票日

### 令和5年6月4日 (日)

## 投票時間

### 午前7時～午後8時

ただし、一部の投票所では、投票時間を変更していますので、ご注意ください。



## 投票の方法

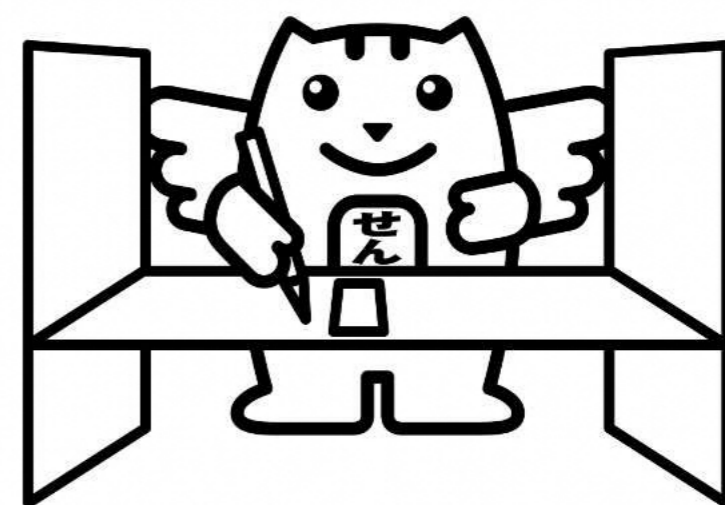
(期日前投票・不在者投票と選挙当日の投票は投票の方法が異なります。)

### ☆期日前投票・不在者投票の投票方法

投票用紙には、候補者の氏名を記載してください。

### ☆選挙当日 (6月4日) の投票方法

投票日当日の投票は「記号式投票」によって行われます。投票用紙にあらかじめ候補者の氏名が印刷されていますので、投票しようとする候補者の氏名の上の欄に○のスタンプを押すか、鉛筆で○を自書して投票してください。



## 期日前投票

### 5月19日 (金) ～6月3日 (土)、午前8時30分～午後8時

期日前投票所の一覧を県選挙管理委員会のホームページに掲載しています。一部の投票所では、投票時間を変更していますので、ご注意ください。

県選挙管理委員会の特設ホームページはこちら→

